

クラスターの入力履歴の取得

- 初期入力値変更表示
- PDF証跡出力
- クラスター値の変更理由の入力

2023-05-08

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-06-30	V4.2		初版作成
2015-09-30	V5.0	P24	PDF証跡出力機能
2015-12-18	V5.1	P28	クラスター値の変更理由入力機能
2016-03-17	V5.1	P8, P9	履歴取得条件設定を追加
2016-03-17	V5.1	P28	<ul style="list-style-type: none">・初回入力値も出力するように対応・変更理由不要の場合は「-」ハイフンで出力するように対応
2018-10-15	V6.0	p28	出力内容について修正
2021-02-03	V8.0	P6、8	前回値：サーバーに保存されている値であることを追記
2023-05-08	--	P32	クラスター値の変更理由入力機能について追記

目次

1. クラスタ入力履歴	
クラスタ入力履歴概要	6
クラスタ毎の入力履歴数の違い	7
クラスタ毎の入力履歴取得条件	8
クラスタ毎の入力履歴取得条件設定	9
クラスタ入力履歴のストレージ影響	10
Managerでクラスタ入力履歴を有効化する	11
Managerでクラスタ入力履歴設定をシステム全体で有効にする	12
Managerでクラスタ入力履歴を参照する	13~15
クラスタ入力履歴参照画面のPDF表示	16
クラスタ入力履歴参照画面の表示・操作	17~18
2. 初期入力値変更表示	
初期入力値変更表示の概要	20
初期入力値とは	21
初期入力値変更表示機能の設定	22
初期入力値変更表示 iPad,iPhoneでの動作	23
初期入力値変更表示 ManagerでのPDF表示	24
3. PDF証跡出力	
PDF証跡出力の概要	26
PDF証跡出力の設定	27
PDF証跡ページについて	28

目次

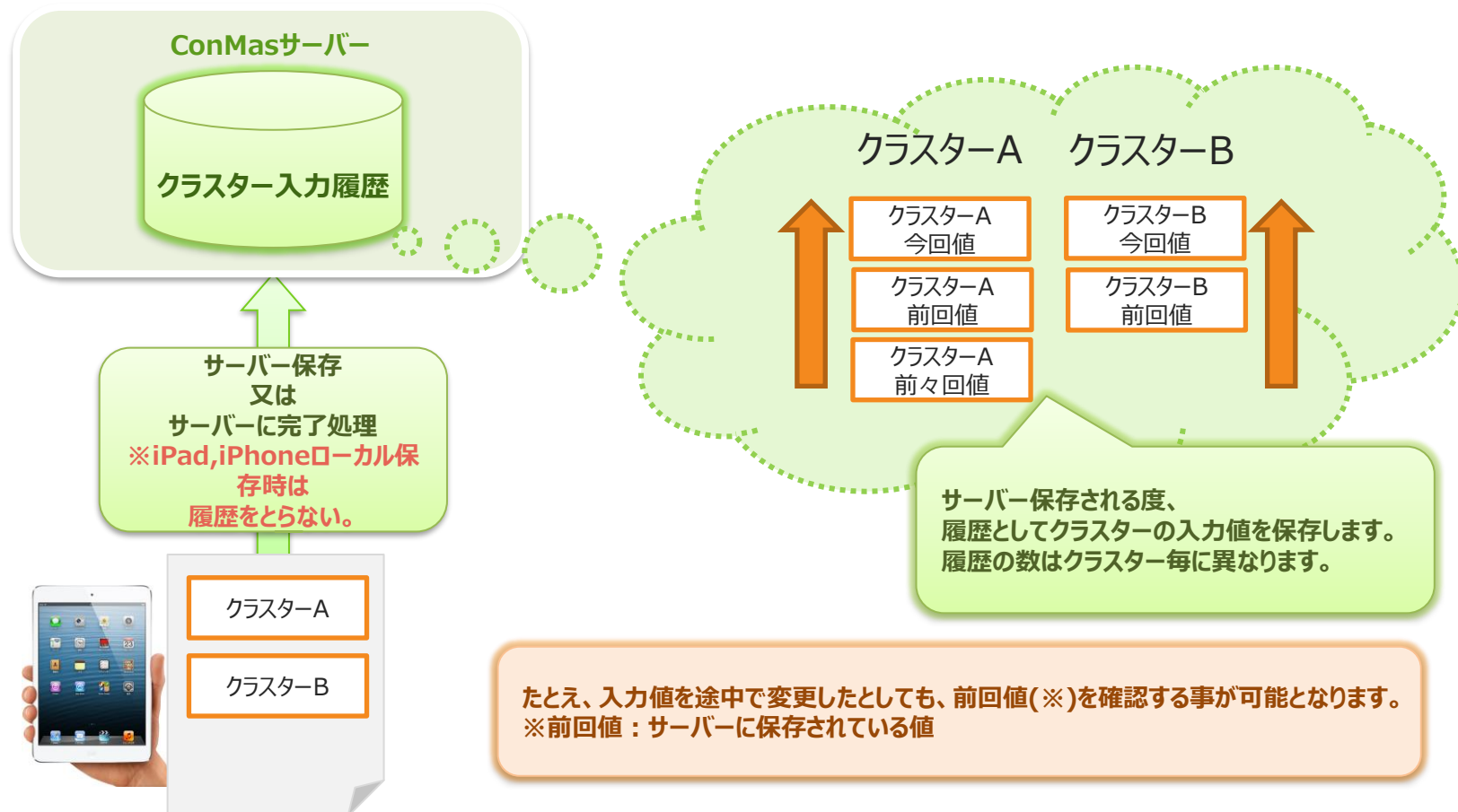
4. クラスター値の変更理由の入力機能	
• クラスター値の変更理由入力機能の概要	30
• 変更理由入力機能の設定：Designerから	31
• 変更理由入力機能の設定：Managerから	32
• 変更理由を確認する：クラスター毎	33
• 変更理由を確認する：帳票毎	34

1. クラスタ入力履歴

クラスター入力履歴機能概要

クラスター入力値が更新されるたびに入力値情報を履歴として格納します。
これにより、クラスター毎に入力値の推移を確認する事が出来ます。

- **入力履歴をとるのは、サーバー保存となります。iPad,iPhoneローカル保存では履歴は取得しません。**
- 入力履歴数に制限はありません。
- 帳票定義単位で履歴を取得する／しないを設定する事が可能です。（システム全体での設定も可能）



クラスター毎の入力履歴数の違い

クラスター入力履歴はiPad,iPhoneでサーバー保存時にすべてのクラスターの入力履歴を取得する訳ではありません。iPad,iPhoneはユーザーに変更されたクラスター入力値のみをサーバーへ送信しています。このため、クラスター毎に入力履歴の数は異なります。

1. 新規作成してサーバー保存

クラスターAとCを入力。
クラスターBは何もしない



クラスターA	testA
クラスターB	
クラスターC	testC

サーバー保存



No	クラスターA の入力履歴	クラスターB の入力履歴	クラスターC の入力履歴
1	testA		testC

履歴の数は
クラスターA: 1個
クラスターB: 0個
クラスターC: 1個
となります。

2. 再編集してサーバー保存

クラスターCのみを編集



クラスターA	testA
クラスターB	
クラスターC	testCC

サーバー保存



No	クラスターA の入力履歴	クラスターB の入力履歴	クラスターC の入力履歴
1	testA		testC
2			testCC

履歴の数は
クラスターA: 1個
クラスターB: 0個
クラスターC: 2個
となります。

クラスター毎の入力履歴取得条件

クラスターごとに取得する入力履歴は以下の2つのモードにより取得します。

- 入力値が変更された場合に履歴を取得する (Default)
 - 前回値(※)と比較し入力値に変更があった場合のみ履歴を取得します。
書式の変更のみの場合、履歴は取得されません。
 - ※ 前回値：サーバーに保存されている値
- 入力値 または 書式が変更された場合に履歴を取得する
 - 書式変更のみの変更であっても履歴を取得します。

クラスター毎の入力履歴取得条件の設定

設定はシステム管理の共通マスター管理にて行います。

- 共通キー “HISTORY_SETTING”
- 共通項目名称 “SELECT_MODE”
- 共通項目値 “2”:入力値が変更された場合に履歴を取得する (Default)
“1”:入力値 または 書式が変更された場合に履歴を取得する

有効期限: 2016/04/30 ログイン中: 管理 [ログアウト]

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー システム管理

システム管理
ユーザー管理
グループ管理
端末管理
共通マスター管理

共通マスター一覧

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
	HISTORY_SETTING	0	ENABLE	0	
1	HISTORY_SETTING	1	SELECT_MODE	1	

共通マスター参照

共通キー	HISTORY_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	SELECT_MODE
共通項目値	1
ロケール	

共通マスター編集

共通キー	HISTORY_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	SELECT_MODE
共通項目値	1
ロケール	

共通マスター編集

共通キー	HISTORY_SETTING
共通項目インデックス	1
共通項目名称	SELECT_MODE
共通項目値	2
ロケール	

登録 キャンセル

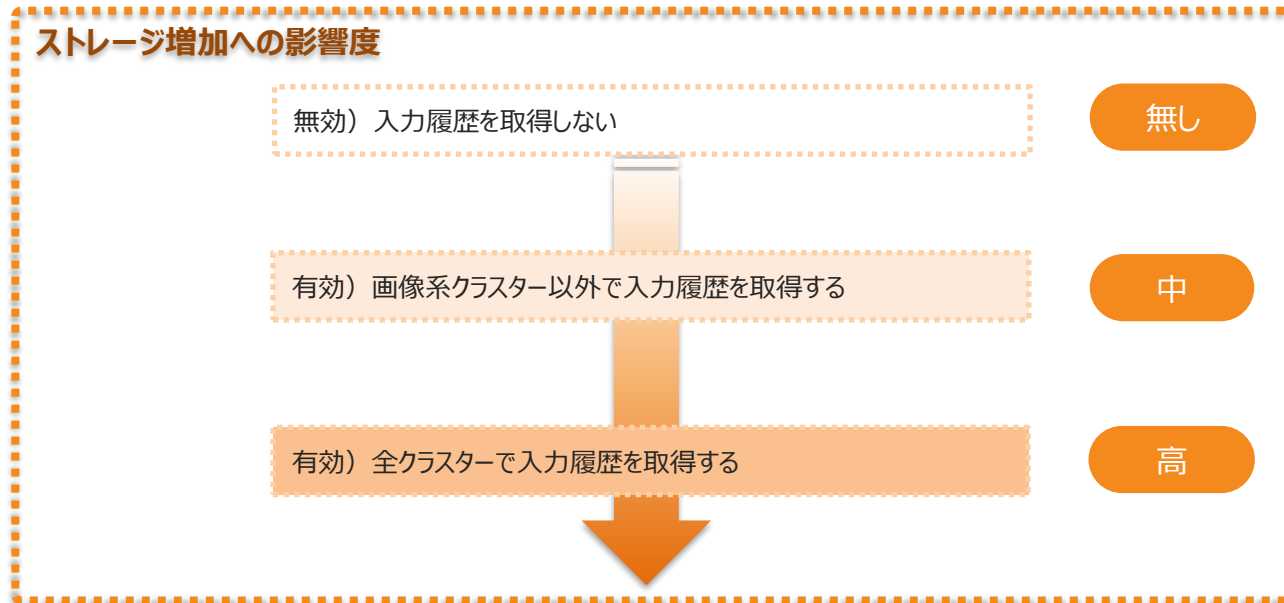
登録 キャンセル

“2” または “1”

クラスター入力履歴取得によるストレージへの影響

クラスター入力履歴を有効にすると、従来よりもストレージを使用します。

- このため、入力履歴設定には、帳票定義毎に目的に合わせて変更出来るよう、以下 3 つの設定をDesigner及びManagerに設けています。
 - 無効) 入力履歴を取得しない
→入力履歴を一切取得しません。
 - 有効) 画像系クラスター以外で入力履歴を取得する
→手書きノート形式、手書きフリーメモ、フリードロー以外のクラスターのみ履歴を取得します。
 - 有効) 全クラスターで入力履歴を取得する
→すべてのクラスターにて入力履歴を取得します。



Managerでクラスター入力履歴を有効化する

クラスター入力履歴機能は**デフォルトでは無効**となっています。
メニュー“帳票定義”より帳票定義毎にクラスター入力履歴設定が行えます。

The screenshot illustrates the process of enabling cluster input history in the ConMas Manager. It is divided into several sections with numbered callouts:

- ① 「帳票定義」メニューをクリック**: The "帳票定義" (Report Definition) menu item is highlighted in the top navigation bar.
- ② 設定する帳票定義をクリック**: A specific report definition, "[#4589](V4.0_Sample)全インプットサンプル", is selected in the list.
- ③ 基本情報をクリック**: The "基本情報" (Basic Information) tab is selected for the chosen report definition.
- ④ 現在の設定内容が参照出来る**: The "クラスター入力履歴設定" (Cluster Input History Setting) section is shown with the current setting "全クラスターで入力履歴を取得" (Obtain input history for all clusters) and other options like "初期入力値変更表示設定" (Initial input value change display setting).
- ⑤ 編集をクリック**: The edit icon (pencil) is clicked to modify the setting.
- ⑥ クラスター入力履歴設定の変更を行う。 ※登録で確定**: The dropdown menu is changed from "全クラスターで入力履歴を取得" to "入力履歴を取得しない" (Do not obtain input history).

An additional note in an orange box states: **定義編集権限がある人は入力帳票個別設定も可能です。** (Users with definition editing permissions can also set individual input reports.)

Managerでクラスター入力履歴設定をシステム全体で有効にする

メニュー“システム管理”の→共通マスター管理にてシステム全体でクラスター入力履歴の設定を行えます。
※システム全体で設定すると、帳票定義の設定は無視されます。

1. 共通キーより“HISTORY_SETTING”を選択します。
2. 共通項目名称“ENABLE”を“0”→“1” 又は “2”に変更します。

“0”：無効) システム全体設定なし (デフォルト)

“1”：有効) 画像系クラスター以外で入力履歴を取得する

“2”：有効) 全クラスターで入力履歴を取得する

共通マスター一覧

① HISTORY_SETTING を選択

No	共通キー	共通項目インデックス	共通項目名称	共通項目値	ロケール
0	HISTORY_SETTING	0	ENABLE	0	

② この行を設定します。

共通マスター編集

共通キー	HISTORY_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	ENABLE
共通項目値	0
ロケール	

③ 0→1 又は 2に設定します。

共通項目値 1

Managerでクラスター入力履歴を参照する

入力帳票のシート参照画面にてクラスター入力履歴をクラスター毎に参照する事が出来ます。
※メニュー“入力帳票”→対象の帳票をクリック→基本情報→シート情報
履歴の存在するクラスターに“入力履歴”ボタンが表示されます。

①メニュー“入力帳票”をクリック

②履歴確認する帳票をクリック

③シート参照画面へ

次ページへ

基本情報画面

年月日	2014年06月22日	年月日	2014/06/21(土)	カレンダー 年月日	2014年06月21日(土)	カレンダー 年月日	06月21日(土)		
数量	89.01	数量	258.00	計算式 (数値)	347.01	数量 (しきい値)	92kg	数量 (しきい値)	¥800
数量選択	100	数量選択	125.5	計算式 (数値選択)	226	数量選択 (しきい値)	36.5°C	計算式 (時間数)	500cc
				時間 (終了)		時間 (しきい値)		時間 (終了)	0分

ConMas Manager ログイン中: ユーザー 01 [ログアウト]
Version: 4.2.4513

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | システム管理

帳票名: yoshida_201406211512_「#4589」(V4.0_Sample)全インプットサンプル

基本情報

- 1:インプットサンプル (ページ1)
- 2:インプットサンプル (ページ2)
- 3:インプットサンプル (ページ3)
- 4:インプットサンプル (ページ4)
- 5:インプットサンプル (ページ5)

シート参照画面

シートコピー可否 可能

レイヤー表示
初期入力値変更表示OFF



下へスクロール

▼ クラスター

No.	クラスター名称	クラスター種類	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	サーバー更新者	コメント	メール通知設定
0	年月日	Date	2014年06月21日 入力履歴			緯度:35.638649			
1	カレンダー年月日	Date	2014/06/21(土)	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:13	緯度:139.705109 高度:15.227536 Map			
2	カレンダー年月日	CalendarDate	2014年06月21日(土)	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:15	緯度:35.638649 経度:139.705109			

⑤ 入力履歴の存在するクラスターに“入力履歴”ボタンが表示されます。
※ 履歴のないクラスターには存在しません。

クラスター入力履歴参照画面

1/5

⑥クラスター入力履歴画面が表示されます。

シート帳票ID	3601
シート帳票名称	インプットサンプル (ページ1)
帳票内ページ番号	1

クラスターID	0
クラスター名称	年月日
クラスター種類	Date

▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 Map	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月25日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 Map	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 Map	

入力履歴

クラスター入力履歴参照画面のPDF表示

クラスター入力履歴参照画面上のPDFプレビューでは、どのクラスターの入力履歴を参照しているのかを識別させるため、枠線を表示します。

PDFプレビュー

クラスター入力履歴情報

レイヤー表示

初期入力値変更
表示ON

ConMas i-Reporter V4							
年月日	2014年06月23日			年月日	2014/06		
数値	00	数値	258.00	計算式 (数値)			
数値選択			25.5	計算式 (数値選)			
時間数		時間数 (しきい値)		時間数 (しきい			
時刻 (開始)		時刻 (終了)		時刻計算			
	円	円	円	円	円	円	円

履歴参照しているクラスターに
枠線を表示します。

クラスター入力履歴参照画面の表示・操作

- クラスター入力履歴は、クラスター単位で表示します。
- 表示順番は新しい順となります。一番上が最新値です。
- クラスター移動ボタンで前後の履歴をもつクラスターに移動します。

The screenshot shows a web interface for cluster input history. At the top, there are two summary tables. The first table, titled 'シート情報' (Sheet Information), contains: シート帳票ID: 3601, シート帳票名称: インプットサンプル (ページ1), 帳票内ページ番号: 1. The second table, titled '履歴参照しているクラスター情報' (Cluster Information Referenced in History), contains: クラスターID: 0, クラスター名称: 年月日. Navigation buttons are shown: a left arrow button with the callout '履歴をもつ前のクラスターへ移動します。' (Move to the previous cluster with history) and a right arrow button with the callout '履歴をもつ次のクラスターへ移動します。' (Move to the next cluster with history). A large callout at the bottom right states: '入力の推移が確認出来ます。また、誰がいつ編集したのかを確認できます。' (You can confirm the transition of input. You can also confirm who edited it and when). Below these is a section titled '▼入力履歴' (Input History) containing a table with the following data:

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 Map	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月22日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 Map	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:57:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 Map	

シート帳票ID	3601
シート帳票名称	インプットサンプル (ページ1)
帳票内ページ番号	1

クスターID	0
クスター名称	年月日
クスター種類	Date

履歴はサーバー更新日時の新しい順番で表示されます。
※一番上が現在の値です。

▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	入力値	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント
2014/06/25 19:12:24	yoshida:吉田	2014年06月23日	yoshida:吉田	2014/06/25 19:12:19	緯度:35.638573 経度:139.705124 高度:15.497780 Map	
2014/06/25 18:48:21	yoshida:吉田	2014年06月22日	yoshida:吉田	2014/06/25 18:47:59	緯度:35.639050 経度:139.705139 高度:15.055589 Map	
2014/06/21 15:12:45	yoshida:吉田	2014年06月21日	yoshida:吉田	2014/06/21 14:47:11	緯度:35.638649 経度:139.705109 高度:15.227536 Map	

入力の推移が確認出来ます。

画像系のクスターでも履歴表示可能です。
※設定が“全クスターで入力履歴を取得する”
になっている必要があります。

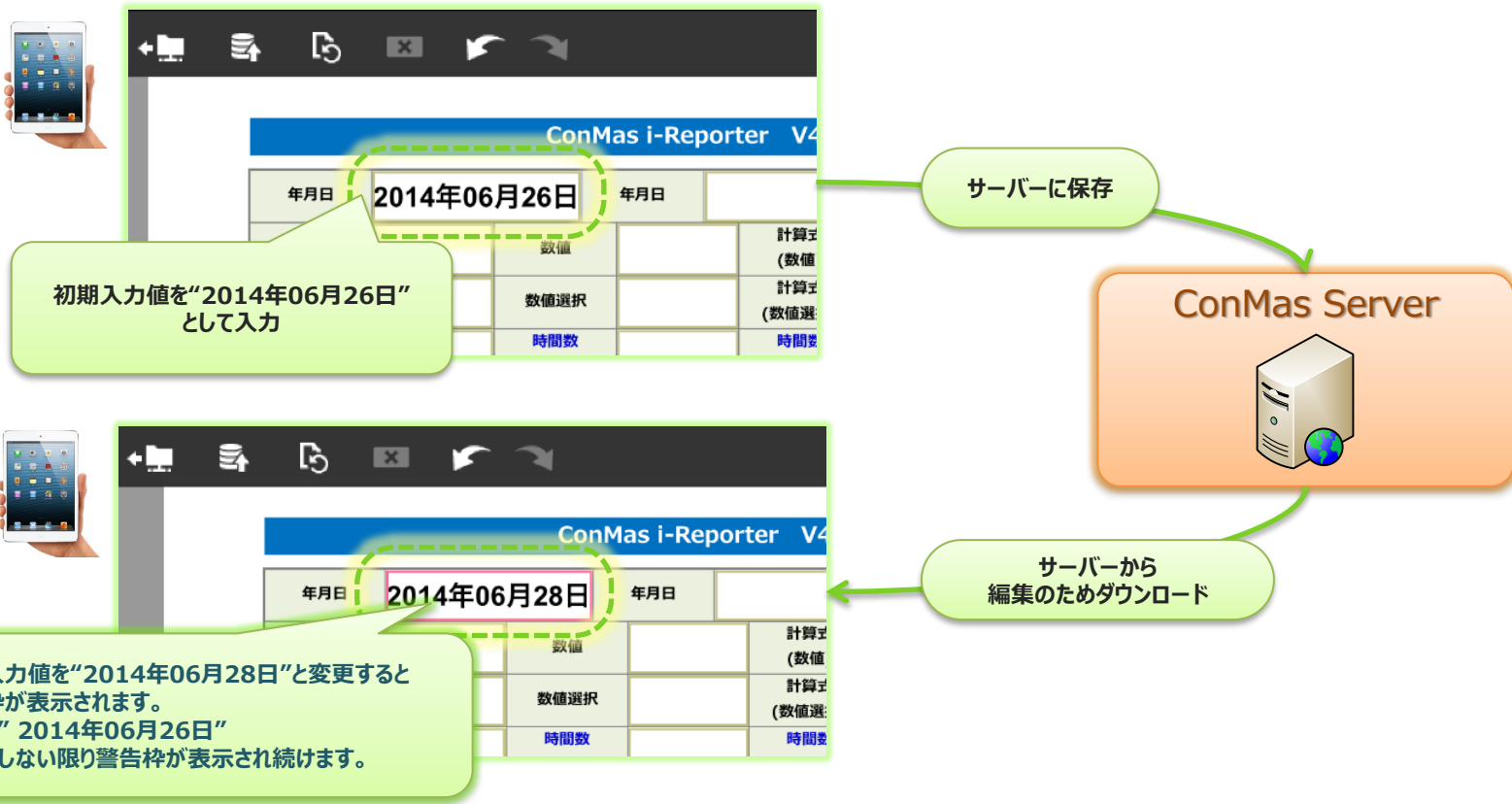


2. 初期入力値変更表示

初期入力値変更表示の概要

“初期入力値”から変更されたクラスターに警告枠線を表示します。

- クラスター入力履歴設定が
“画像系クラスター以外で入力履歴を取得する” 又は “全クラスターで入力履歴を取得する” になっている必要があります。
注) “画像系クラスター以外で入力履歴を取得する” 設定の場合は、
フリードロー、画像、手書きノート形式、手書きフリーメモでは枠線表示出来ません。
- 初期入力値変更表示は、DesignerもしくはManagerで設定します。警告枠線の色も設定出来ます。
- 初期入力値に戻すことで警告枠線が元に戻ります。
- iPad, iPhone、ManagerPDFプレビュー上で表現されます。

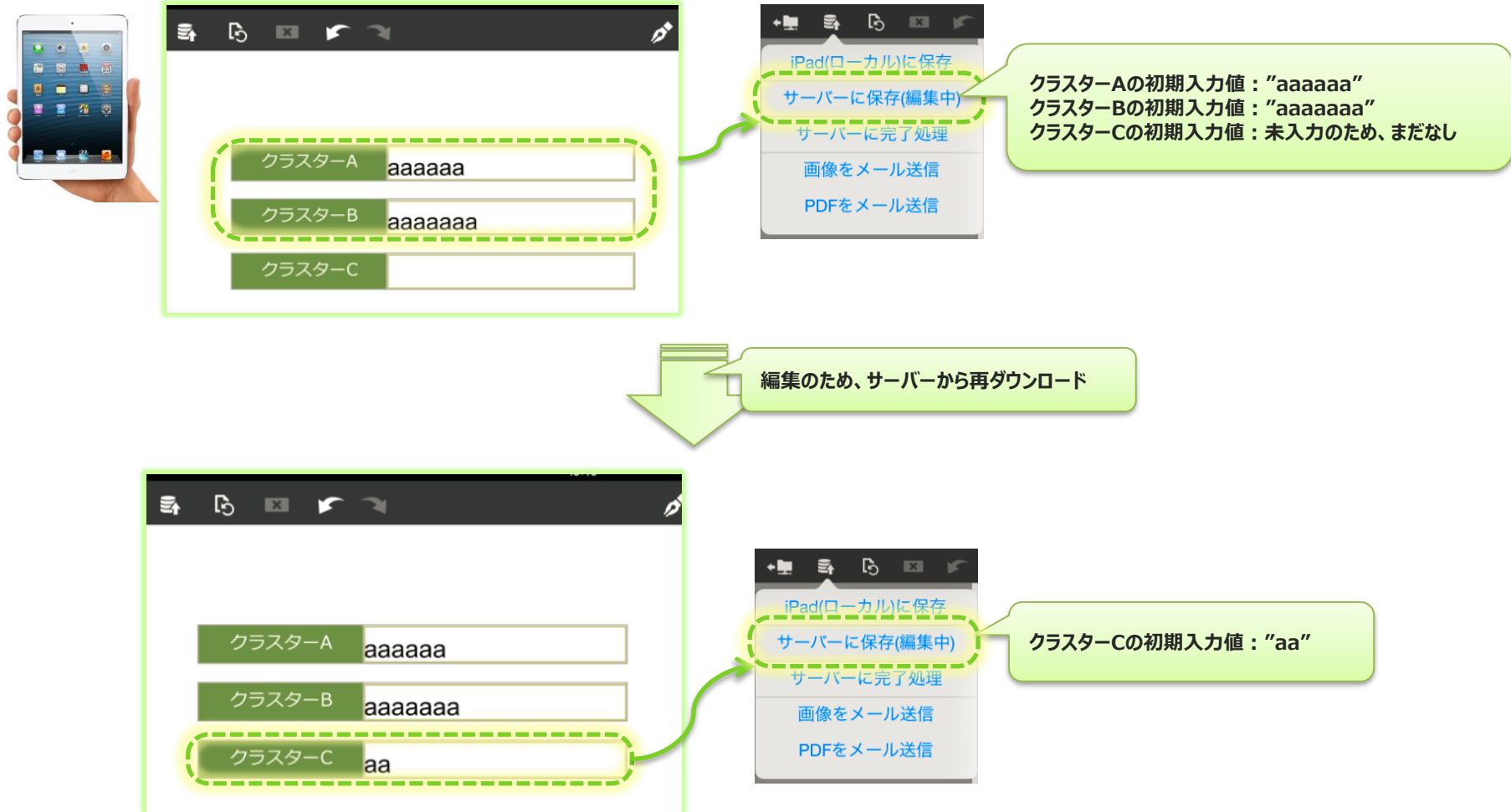


初期入力値とは

“初期入力値”とは初めてサーバー保存されたクラスター入力値の事です。

- 未入力は初期入力値とはなりません。

例) クラスターA, クラスターB, クラスターCの初期入力値



Managerでの初期入力値変更表示機能の設定

初期入力値変更表示の設定は帳票定義単位で行います。

- メニュー“帳票定義”より設定したい帳票定義をクリック→基本情報画面で編集をクリック
- 有効化するには、初期入力変更表示設定を“する”にします。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログアウト] Version: 4.2.4481

帳票定義 | 入力帳票 | データ出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター | システム管理

定義名: [#4589](V4.0_Sample)全インプットサンプル

基本情報

- 1:インプットサンプル (ページ1)
- 2:インプットサンプル (ページ2)
- 3:インプットサンプル (ページ3)
- 4:インプットサンプル (ページ4)
- 5:インプットサンプル (ページ5)

公開

ConMas I-Reporter V4.0 インプットサンプル (ページ1)					
年月日	年月日	計算式 (数値)	カレンダー 年月日	カレンダー 年月日	カレンダー 年月日
数値	数値	計算式 (数値)	数値 (しきい値)	数値 (しきい値)	数値 (しきい値)
数値演算	数値演算	計算式 (数値)	数値演算 (しきい値)	数値演算 (しきい値)	数値演算 (しきい値)
期間数	期間数	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)	期間数 (しきい値)

申請者編集ロック設定

する ▼

クラスター入力履歴設定

全クラスターで入力履歴を取得 ▼

初期入力値変更表示設定

する ▼

枠線色: Pink ▼

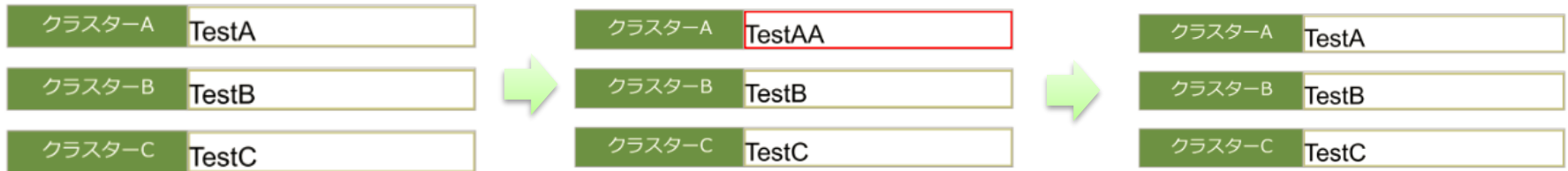
“する”に設定すると有効となります。

警告枠線色を選択

帳票定義を編集する権限があるユーザーは入力帳票毎にも変更する事が可能です。

初期入力値変更表示 iPad,iPhoneでの動作

- 初期入力値変更表示は、初期入力値に戻せば元に戻ります。



- 初期入力値変更表示による警告枠色は表示切替ボタンタップで切り替えれます。



初期入力値変更表示が有効である帳票は、iPad,iPhoneでPDF出力した場合常に初期入力値変更表示状態となります。

ManagerでのPDF：初期入力値変更表示

PDFプレビューでもiPad,iPhoneと同様に警告枠色を表示します。

- “初期入力値変更表示ON/OFF”ボタンをクリックして警告枠色の非表示・表示を切り替えます。
- 初期入力変更表示設定が“する”となっている帳票はデフォルトONとなります。

初期入力値変更表示OFF

表示切替え

初期入力値変更表示ON

初期入力値変更表示状態

初期入力値変更
表示OFF

初期入力値変更
表示ON

初期入力値変更表示なし状態

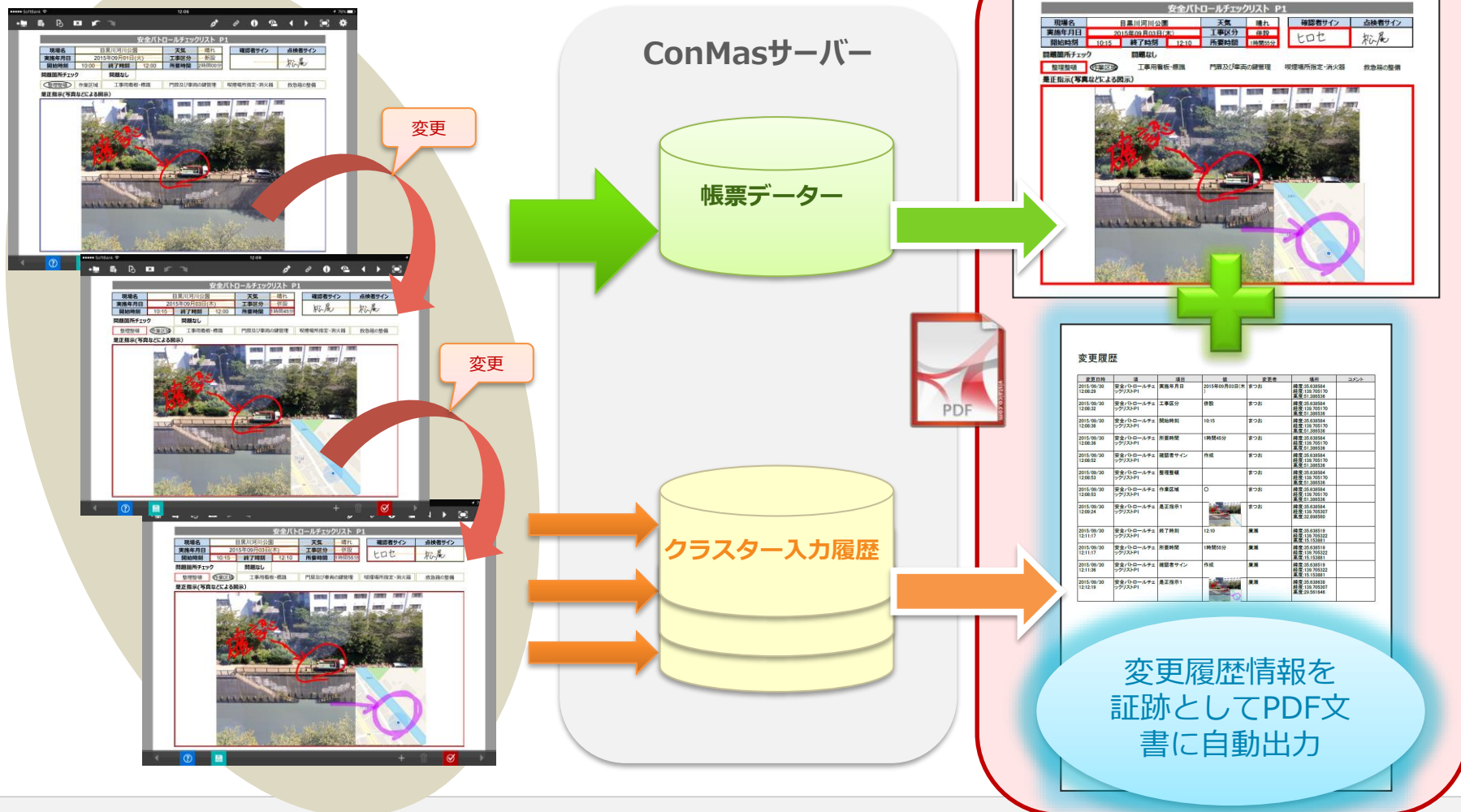
初期入力値変更表示は、クラスター入力履歴を取得していれば、どの帳票でも表示可能です。
このため、ManagerのPDFプレビューでは、初期入力値変更表示設定が無効であっても
“初期入力変更表示ON/OFF”ボタンで切替えが可能です。
※クラスター入力履歴がないと、表示出来ません。

3. PDF証跡出力

PDF証跡出力の概要

PDF証跡として「変更履歴」ページを自動で追加出力します。

- クラスター入力履歴機能により収集した帳票の変更内容を、「証跡」として帳票と合わせてPDFに出力することが可能です。
- 定義毎に設定が可能です。デフォルトはオフです。
- PDF証跡を出力するためにはクラスター入力履歴データが必要です。



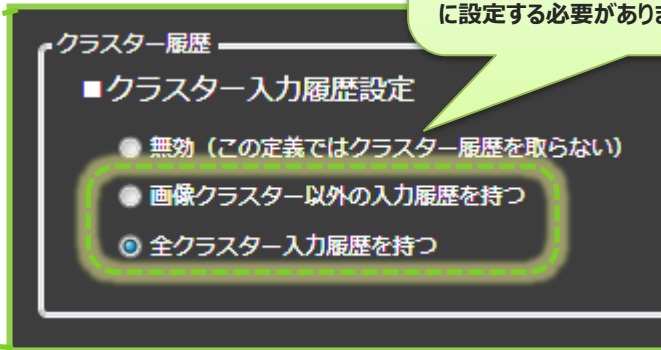
PDF証跡出力の設定

PDF証跡出力を有効にする。(ConMas Designer)

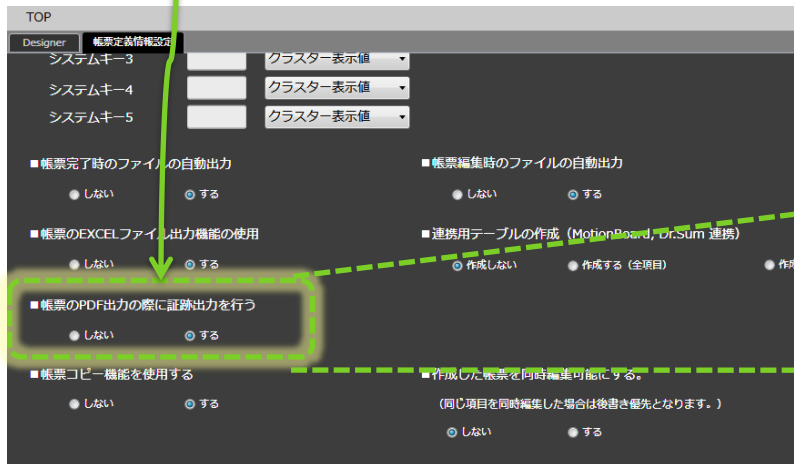
- 「ConMas Designer」にて定義毎に設定が可能です。
- PDF証跡データに必要なクラスター履歴デフォルトはオフです。



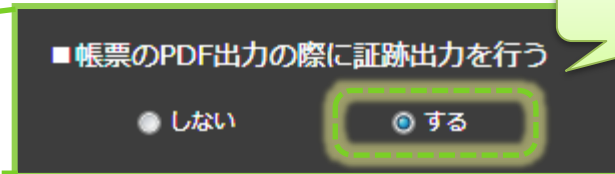
証跡データの元となる「クラスター履歴」を収集するための設定をします。
「画像クラスター以外の入力履歴を持つ」または、「全クラスター履歴を持つ」に設定する必要があります。



「クラスター履歴」が無効な場合、PDF証跡用のページは出力されますが変更履歴情報自体は出力されませんのでご注意ください。



「する」に設定します。





PDF証跡ページについて

PDF証跡データを「変更履歴」としてPDFファイルに自動出力されます。

- 元の帳票出力PDFの末尾に「変更履歴」ページが自動的に追加され、1つのPDFファイルとして出力されます。
- 履歴データが増えた場合は自動でページが追加されます。

変更履歴

変更日時	項	項目	値	変更者	場所	コメント
2015/09/30 12:08:29	安全ハットロールチェ ックリストP1	実施年月日	2015年09月03日(木)	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:32	安全ハットロールチェ ックリストP1	工事区分	併設	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:36	安全ハットロールチェ ックリストP1	開始時刻	10:15	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:36	安全ハットロールチェ ックリストP1	所要時間	1時間45分	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:52	安全ハットロールチェ ックリストP1	確認者サイン	作成	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:53	安全ハットロールチェ ックリストP1	整理整備		まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:08:53	安全ハットロールチェ ックリストP1	作業区域	○	まつお	緯度:35.638584 経度:139.705170 高度:51.389536	
2015/09/30 12:09:24	安全ハットロールチェ ックリストP1	是正指示1		まつお	緯度:35.638584 経度:139.705307 高度:32.898560	
2015/09/30 12:11:17	安全ハットロールチェ ックリストP1	終了時刻	12:10	廣瀬	緯度:35.638519 経度:139.705322 高度:15.153881	
2015/09/30 12:11:17	安全ハットロールチェ ックリストP1	所要時間	1時間55分	廣瀬	緯度:35.638519 経度:139.705322 高度:15.153881	
2015/09/30 12:11:36	安全ハットロールチェ ックリストP1	確認者サイン	作成	廣瀬	緯度:35.638519 経度:139.705322 高度:15.153881	
2015/09/30 12:12:19	安全ハットロールチェ ックリストP1	是正指示1		廣瀬	緯度:35.638638 経度:139.705307 高度:29.561646	

【項目説明】

- **変更日時** タブレット上での入力日時
- **項** シート名称
- **項目** クラスタ名称
- **値** 変更後の値
 ※一部のクラスタにより表示方法が異なります。
 チェッククラスタは「○」、または、空文字
 承認系クラスタは「承認待ち」等の状態
 画像系クラスタは画像
- **変更者** ユーザー名
- **場所** GPS情報
 ※タブレット側の位置情報サービスにより、
 あプイ内でGPS情報が取得できる必要があります。
- **コメント** チェッククラスタのコメント
- **変更理由** 変更理由（変更理由不要の場合はハイフン“-”）

4. クラスター値の変更理由入力機能

クラスター値の変更理由入力機能の概要

一度サーバーに保存したクラスター値を変更するとき、その変更理由を都度入力する機能です。

- 変更理由を入力しないとクラスター値が変更できなくなります。
この設定は帳票定義ごとにDesigner、もしくは 帳票定義 or 帳票ごとに Managerで行います。

同一LOT検査					
Serial#	生産年月日	生産数量	検査数量	OK数	NG数
SN901	2015/12/18	250個	250個	250個	0個
			0個		0個

同一LOT検査					
Serial#	生産年月日	生産数量	検査数量	OK数	NG数
SN901	2015/12/18	250個	250個	250個	0個
				0個	0個
				0個	0個
				0個	0個
合計				249	0個



値を変更

入力した変更理由は、Managerのクラスター履歴画面で確認ができます。

値を変更した理由を求められます。

同一LOT検査					
Serial#	生産年月日	生産数量	検査数量	OK数	NG数
SN901	2015/12/18	250個	250個	249個	1個
合計		250個	250個	249個	1個

変更理由の入力

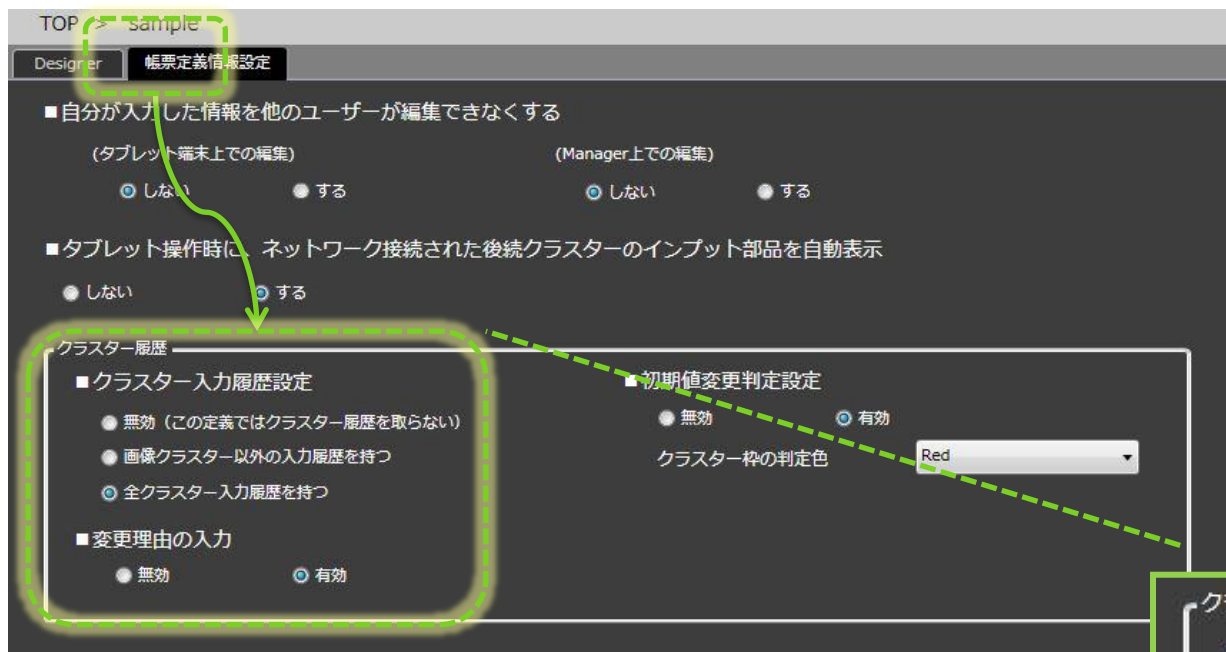
再チェック時に発見

A screenshot of a keyboard interface. The keyboard is visible at the bottom. A yellow highlight is on the input field of the '変更理由の入力' dialog box. The text '再チェック時に発見' is visible in the input field.

変更理由入力機能の設定 : Designer

変更理由入力機能を有効にする。

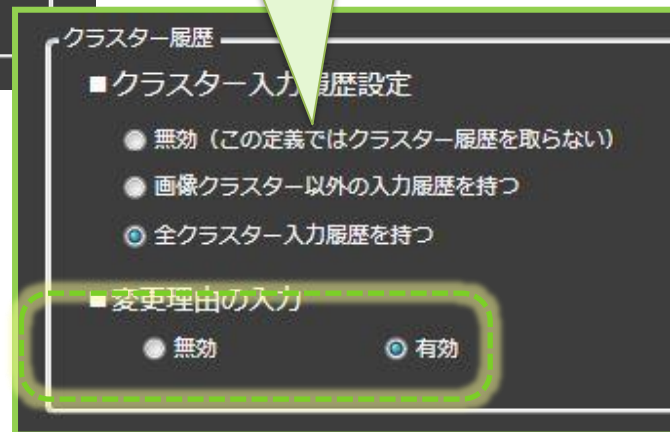
- 「ConMas Designer」で「定義毎」に設定します。



変更理由入力機能を有効にするには、

「画像クラスター以外の入力履歴を持つ」
または、
「全クラスター履歴を持つ」

の設定を行う必要があります。




変更理由入力機能の設定：ネットワーク設定

ネットワーク設定により自動入力される場合、以下クラスター種別は変更理由を求めません。

- ・年月日
- ・カレンダー年月日
- ・時刻
- ・ログインユーザー

▼Designer設定

後続クラスターの自動入力 

■ 先行クラスターに値を入力したとき

- 後続クラスターに値を入力する
- 無効

後続クラスターを編集可能にする

■ 先行クラスターの入力値をクリアしたとき

- 後続クラスターに値を入力する
- 後続クラスターをクリアする
- 無効

変更理由入力機能の設定 : Managerから

変更理由入力機能を有効にする。

- 「ConMas Manager」で「定義毎」または「入力帳票毎」に設定する

ConMas Manager 有効期限 : 2016/07/31 ログイン中 : 開発者 [ログアウト] Version: 3.1.5999

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー

帳票名 : 201512181510_ [変更理由]不具合報告&品質対策シート

作成日	2015年12月18日(金)	部署名	材料調達グループ	作成者	
製造工場		図面NO.			
製品群		適応機種			
部品名		客先			

変更理由入力機能を有効にするには、

「画像クラスター以外の入力履歴を持つ」
または、
「全クラスター履歴を持つ」

に設定する必要があります。

基本情報に
設定項目があります。

▼基本情報

帳票ID	1764
帳票名称	201512181510_ [変更理由]不具合報告&品質対策シート
元帳票ID	1764
レビジョンNO	1
定義ID	673
定義名称	[変更理由]不具合報告&品質対策シート
帳票種別	セット
ページ数	2
対象区分	対象外
取得対象	対象外
view登録	Yes

クラスター入力履歴設定

自分が入力した情報を他のユーザーが編集できないようにする

全クラスターで入力履歴を取得

初期入力値変更表示設定	する 緑色: Red
変更理由の入力	する

しない

変更理由を確認する：クラスター毎

クラスター入力履歴参照画面（クラスター毎）で変更理由を確認できます。

- ・クラスター毎の値を変更した理由を確認できます

クラスター入力履歴参照画面

1/2

シート帳票ID	6654
シート帳票名称	不具合報告
帳票内ページ番号	1

クラスターID	20
クラスター名称	OK数
クラスター種類	InputNumeric

▼入力履歴

サーバー更新日時	サーバー更新者	表示用文字列	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末編集日時	モバイル端末GPS	コメント	変更理由
2015/12/18 15:27:03	user01:開発者	249個	user01:開発者	2015/12/18 15:26:33	緯度:35.638447 経度:139.705383 高度:14.825797 Map		再チェック時に発見
2015/12/18 15:14:52	user01:開発者	250個	user01:開発者	2015/12/18 15:14:32	緯度:35.638527 経度:139.705276 高度:35.005371 Map		最終チェックにて変更
2015/12/18 15:10:55	user01:開発者	180個	user01:開発者	2015/12/18 15:09:58	緯度:35.638428 経度:139.705338 高度:18.877075 Map		

変更理由

入力値を「250」→「249」に変更

変更理由を確認する：帳票毎

クラスター入力履歴参照画面（帳票毎）で変更理由が確認できます。

- ・ 帳票の全てのクラスターの入力履歴 + 変更理由を確認できます。
- ・ 帳票の全てのクラスターの入力履歴 + 変更理由をCSVダウンロードできます

基本情報画面

有効期限：2016/07/31

ログイン中：開発者 [ログアウト]
Version:5.1.5999

出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー

帳票名：201512181510_[変更理由]不具合報告&品質対策シート

入力履歴

▼入力履歴

CSV

サーバー更新日時	サーバー更新者	帳票内ページ番号	シート帳票名称	クラスターID	クラスター名称	入力値	モバイル端末未編集日時	モバイル端末編集ユーザー	モバイル端末GPS	コメント	変更理由
2015/12/18 15:27:03	user01: 開発者	1	不具合報告	20	OK数	249個	2015/12/18 15:26:33	user01: 開発者	緯度:35.638447 経度:139.705383 高度:14.825797 Map		再チェック時に発見
2015/12/18 15:14:52	user01: 開発者	1	不具合報告	20	OK数	250個	2015/12/18 15:14:32	user01: 開発者	緯度:35.638527 経度:139.705276 高度:35.005371 Map		最終チェックにて変更
2015/12/18 15:13:29	user01: 開発者	1	不具合報告	18	生産数量	250個	2015/12/18 15:12:08	user01: 開発者	緯度:35.638680 経度:139.705231 高度:9.038696 Map		検査数量の間違いのため
2015/12/18 15:10:55	user01: 開発者	1	不具合報告	0	作成日	2015年12月18日(金)	2015/12/18 15:08:52	user01: 開発者	緯度:35.638428 経度:139.705338 高度:18.877075 Map		

表示件数 20

変更理由

CSVダウンロードボタンからこの帳票の全クラスターの入力履歴 + 変更理由をダウンロードできます。

帳票のクラスターの入力履歴が一覧で確認できます

クラスターの入力履歴がある場合に表示されます。